



JA紀南 気象データ

令和7年中晩柑類栽培暦

JA 紀南
西牟婁振興局農業水産振興課監修
令和6年11月作成

★土壌診断を行い、適正施肥に努めよう！
農業中毒の相談は日本中毒情報センター(大阪)TEL 072-727-2499(24時間対応)

肥 培 管 理 (土づくりは、みかん栽培暦に準ずる)				
	3月上旬中旬	6月上旬	9月上旬	10月中旬～11月上旬
不 知 火	完熟みかん配合 120kg	完熟みかん配合 100kg	完熟みかん配合 100kg	完熟みかん配合 80kg
清 見	紀南柑橘配合 100kg	紀南柑橘配合 100kg	紀南柑橘配合 80kg	紀南柑橘配合 100kg
ポ ン カ ン		紀南柑橘配合 80kg	(9月下旬～10月上旬)	紀南柑橘配合 80kg
八 朔 甘 夏	紀南柑橘配合 140kg	有機化成特 A805 60kg	紀南柑橘配合 100kg	完熟みかん配合 100kg
バレンシア	完熟みかん配合 80kg	(収穫後) 紀南柑橘配合 120kg		

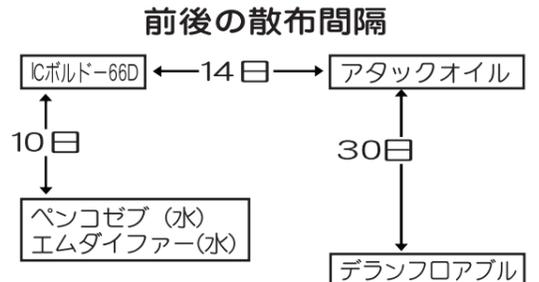
完熟みかん配合(6-7-4)有機率 87.5% 有機化成特A805(10-6-7)有機率 40.5% 紀南柑橘配合(7-6-5)有機率 55.5%
 ※リン酸過剰圃では 絆ベレット(8-3-4)有機率 63% こだわりオール有機(7-2-4)有機率 100.0%

月	病虫害名	薬剤名	倍数	使用基準		備 考
				収穫前日数	使用回数	
3	かいよう病(発芽前) ミカンハダニ	ICボルドー 66D アタックオイル	60倍 80倍	— 3月	—	収穫の終わった品種に使用
4						かいよう病多発圃ではICボルドー66D 80倍(必ずアピオン-E 1000倍を加用する)
5	黒点病 灰色かび病 アオハナムグリ・ケジスイ類 (開花初期)	エムダイファー(水) ナティーボフロアブル モスピラン顆粒(溶) 又は マブリック(水)20 (マブリックとボルドーの近接散布を避ける)	600倍 2000倍 2000倍 2000倍	90日前まで 前日まで 14日前まで 45日前まで	2回以内 3回以内 3回以内 2回以内	ミツバチに影響する薬剤の使用はひかえる 梅雨の黒点病防除時にアピオン-E 1000倍を加用(但し、マシン油乳剤使用時には混用しない) チャノホコリダニの発生に注意(果実に灰白色のコルク状の被害) サンマイト(水)3000倍 3日前まで/2回以内 バレンシアの5月～6月の黒点病にはナティーボフロアブル1500倍 収穫前日まで/3回以内
	カイガラムシ類	トランスフォームフロアブル 又は モベントフロアブル (ヤノネカイガラムシ多発圃)	2000倍 2000倍	前日まで 7日前まで	3回以内 3回以内	
	チャノキアザミウマ	キラップフロアブル (マシン油乳剤との混用不可)	2000倍	21日前まで	2回以内	
	かいよう病(新葉硬化頃)	ICボルドー 66D	80倍	—	—	
6	黒点病 ゴマダラカミキリ成虫	エムダイファー(水) グレーシアフロアブル 又は アクタラ顆粒(溶)	600倍 4000倍 4000倍	90日前まで 7日前まで 14日前まで	2回以内 2回以内 3回以内	6月～9月のかいよう病多発圃では、 クプロシールド 1000倍(クレフノン200倍加用が望ましい) (ただし、葉付き収穫する品種は注意) 又はマイコシールド1000倍30日前まで (温州みかんは60日前まで) 2回以内
	黒点病 ミカンサビダニ アザミウマ類	ペンコゼブ(水) アグリメック	600倍 2000倍	90日前まで 7日前まで	4回以内 3回以内	ミカンサビダニは6月から11月まで発生に注意する ゴマダラカミキリ幼虫の食入時期に主幹から株元散布 モスピラン顆粒(溶) 200倍 14日前まで/3回 又はアクセルフロアブル 200倍 7日前まで/3回
	(ゴマダラカミキリ発生圃)	アクセルキングフロアブル (目に刺激あり、注意)	2000倍	7日前まで	2回以内	
7	黒点病 ゴマダラカミキリ成虫 アザミウマ類	ペンコゼブ(水) アドマイヤーフロアブル	600倍 3000倍	90日前まで 14日前まで	4回以内 3回以内	
8	黒点病 アザミウマ類 ミカンハダニ ミカンサビダニ	ペンコゼブ(水) コテツフロアブル ダニゲッターフロアブル	600倍 4000倍 2000倍	90日前まで 前日まで 前日まで	4回以内 2回以内 1回	(不知火) 降雨が少ない年は10月まで灌水 夏の干ばつは品質低下の原因になる ペンコゼブ(水)は収穫前日数に注意する
9	<多雨が予想される場合> 黒点病	ナティーボフロアブル	1500倍	前日まで	3回以内	カメムシ類多発圃ではスタークル顆粒(溶)2000倍前日まで/3回以内
10	ミカンハダニ	ダニコングフロアブル	4000倍	前日まで	1回	チャノホコリダニ同時防除の場合は、スターマイトフロアブル3000倍7日前まで/1回
11	青かび病・緑かび病	トップジンM(水) 又は ベンレート(水)	2000倍 4000倍	前日まで 前日まで	5回以内 2回以内	トップジンM(水)、ベンレート(水)は葉斑に注意する トップジンM(水)又はベンレート(水)を使用する場合は、どちらかの剤に限る。 後期落果防止(マデックEWの使用方法は下の欄参照)
12	ヤノネカイガラムシ ハダニ類(越冬卵)	機械油乳剤 95	45倍	冬期	—	袋掛け直前は機械油乳剤95の散布を控える この時期は品種により散布を検討する

★腐敗対策を徹底しよう！

上記以外に登録のある農薬(抜粋)				
病虫害名	薬剤名	倍数	収穫前日数	使用回数
黒点病	ジマンダイセン(水)	600倍	90日前まで	4回以内
ペンコゼブ(水)とジマンダイセン(水)の使用回数は合わせて4回以内				
カイガラムシ類(幼虫)	アブロードフロアブル	1000倍	45日前まで	3回以内
チャノキアザミウマ カイガラムシ類	コルト顆粒(水)	3000倍	前日まで	3回以内

マデックEWの使用法(抜粋)					
作物名	使用目的	倍数	使用時期	使用回数	総使用回数
かんきつ	後期落果防止	2000倍 3000倍	着色期から 収穫20日前まで	2回以内	冬期落葉防止及びへた落ち防止に 使用する場合は、1回以内、後期 落果防止に使用する場合は、2回 以内(但し、異なる目的には使用しない)



防除の注意点

- 隣接圃、早期収穫品種への飛散に注意。●防除器具の洗浄を行う。●本暦は紀南地域の基本的な栽培暦です。栽培管理は気象条件や生育状況により調整して下さい。
- ドリフト対策として、防風垣・防風ネットの整備を行う。●生産履歴の記帳は収穫後より始まります。●本防除記載の農薬の登録内容は令和6年10月末日現在です。